めなければならない状況で、区民や職員の理解が得られない。再考すべきではないか。

**区　長**　他の区と異なり、副区長に新しい役割を期待している。そのための組織づくりなど準備の都合から早くした。すでに議決された議案について、現時点で再考する考えはない。

### 学校再編計画は安全・防災を考慮せよ

学校再編計画の中に幹線道路や鉄道などをまたがる通学区域があるのは、問題だ。通学路の安全確保、災害時の避難路確保など、総合的な観点から検討すべきである。また、局地的集中豪雨対策として、河川流域にある学校の校庭を調節池用地として確保するなどの検討も必要だ。学校再編はこれだけ大がかりに行うのだから、再編計画は、未来の中野区を見据えたものとすべきではないか。

**区　長**　学校再編にあたり、すべての通学区域から幹線道路や鉄道の横断をなくすのは困難である。通学の安全確保は、実情を踏まえ必要な措置を講ずる。再編の具体化を進める中で、通学区域について再度検証する場合もある。学校、学校跡地の防災上の活用については、区の防災計画の中で位置付けていく。

## 地域密着型の新しい福祉サービスの提供を

市民自治　佐藤　ひろこ

高齢者や障がい者、一人ひとりが人として大切にされる地域社会をつくっていくには、一人の人を多くの地域の資源で支援するコミュニティのデザインが必要だ。コミュニティの力をつなぐために、高齢者の支援では「地域ケア会議」、障がい者の支援では「地域自立支援会議」のあり方が重要で、それぞれの分野をつなぎ、問題を報告し、課題を共有し、政策立案に結びつける会議が必要だ。①07年度設置する地域自立支援協議会を区はどのように立ち上げるのか。②地域活動支援センターは、多様な場が選べるように通所施設との併設や新設も可能となるあり方を検討すべきでは。③地域密着型サービスの小規模多機能型施設は、24時間365日きめ細かく在宅を支える拠点として期待されているが、区への誘導策は。

中野駅改札口

**区　長**　①障害者福祉に関係する相談窓口の担当者を中心に始めた検討会議や実践を積み重ね、そこで出された課題を土台に幅広い参加を得て発足させたい。②サービスの利用状況や障害者の要望などを見て判断したい。③国の交付金の利用、区有地の貸与などを考えていきたい。

### 中野駅のバリアフリー化を進めよ

中野駅のバリアフリー化は、中央線近隣のどの駅よりも遅れている。改札口の階段の段差解消、エレベーターや多機能トイレの設置はどうなっているのか。

**区　長**　階段は19年度実現を目途に検討、エレベーターや多機能トイレは駅の大規模改修が必要であり、JRへ整備を再度要請する。

### 障がい児支援策の充実を

①障がい児の親たちは、最初に相談できる窓口、的確な情報を求めているが、区はこの要望にどうこたえるのか。②保育園・幼稚園での障がい児の枠は何人拡大されるのか。③認可外保育園児への支援策はどのようになっているのか。

**区　長**　①情報誌「おひるね」の適切な配布を充実させ、ホームページへの掲載など努力したい。②保育園の障害児枠は今後検討したい。幼稚園については特別な場合を除き、既に一般児と同じ方法で募集している。③保育施設として必要な情報の提供や保育者の相談などに努めている。

## 南台地域の防災まちづくりを推進せよ

自由民主党・民社クラブ　きたごう　秀文

阪神淡路大震災から12年が経過し、防災意識の低下が懸念される。南台地域は防災街区整備地区として、道路整備と建物の不燃化が進められてきたが、①計画の進ちょく状況は。②広域避難場所の安全性を考えると、周辺地域である南台1・2丁目の不燃化率を60～70％に高める必要がある。国・都の補助事業が終了する中で、今後どう取り組んでいくのか。③東大海洋研究所移転の動きがあるが、1日も早い防災公園の整備が求められている。早急に整備計画を示すべきではないか。

**区　長**　①新設道路や東大附属西側道路の拡幅を含めると、地区計画道路の整備率は40％、補助事業による不燃化住宅への建替えは65件あり、不燃化率は52％に改善された。②18年度、都の防災生活圏促進事業が終了し、19年度には国の密集事業が終了する。現在、密集事業の期間延長と、国の都市防災不燃化促進事業の21年度導入に向け、準備を進めている。③東大海洋研究所は20年度末までに移転予定である。移転後早い時期に用地を取得し、東大西側道路に接する南側敷地に防災公園の整備を考えている。今後、用地取得の取り組みに加え、スケジュールを含めた整備方針の検討を進める。

### （仮称）南中野区民活動センター建設計画の推進を

（仮称）南部区民ホール用地には、高齢者から子どもまで利用できる集会室、娯楽室、多目的ホール、地域センターが統合した複合施設を地域住民は熱望している。建設に向けた計画はどうなっているか。

**区　長**　現在、施設内容や整備手法を検討している。19年度中には案を示したい。

### 消防団員確保に協力せよ

国民保護法の施行により、有事の際の避難誘導など、防災活動の必要性はさらに高まってきている。一方、区内の消防団員は、中野消防団、野方消防団あわせて定員500人のところ、約18％、89人不足の状況にある。消防庁は新規消防団員募集のPRを通して団員確保に努力しているが、区としても団員確保に協力するべきではないか。

総合防災訓練

**区　長**　団員の減少を防ぎ、団員確保に努める。消防署、消防団と検討し、団員数を確保するため、都、

## あらゆる機会をとらえ区民の健康増進を

公明党議員団　岡本　いさお

健康は、区民にとって大きな関心事である。区民が気軽に健康を増進できるよう、具体的な取り組みが求められている。①メタボリックシンドロームに関するチラシを作成し、区内全世帯や中高年男性の多い企業などに配布する考えはないか。②区のホームページのトップから、直接メタボリックシンドロームなどに関するページが開くよう改善してはどうか。さらに、そのページに、自らの健康状態をチェックできるシートなどを掲載してはどうか。③区は、「食育推進計画」を策定中であるが、区内の関係機関と連携し、協議しながら策定すべきと考えるがどうか。

**区　長**　①健康づくりに関するPR方法について、検討したい。②ホームページの表示は、区民に分かりやすいものとなるよう工夫する。③食育に関わる地域活動団体や医師会、学校など、関連機関と連携し、策定を進めたい。

### ICタグやITを導入し図書館サービスの向上を

①平成20年度には、区立図書館の現システムのリース契約が切れるが、その際、図書の盗難防止のため、ICタグを導入してはどうか。また、利用者の便宜およびプライバシー確保を図るため、自動貸出機を導入してはどうか。②児童・生徒の読書活動を広げるとともに、地域の利用を拡大するため、学校図書館へのITの導入、区立図書館とのイントラネットの整備を推進すべきではないか。

学校図書館

**教育長**　①今後、コストなどの問題点を精査し、ICタグ導入に向け検討する。自動貸出機についても、タグの導入と併せて検討する。②学校図書館の地域開放のあり方や、区立図書館との連携のあり方について検討を行う中で、学校図書館のIT化などについて検討を進めたい。

### 木の暖かさを実感できる木造建築の推進を

木造建築には、室内の結露を防ぎ湿度を調整する、音の反響や光の反射を和らげる、温もりがあるなどの利点がある。区立小中学校の新築や大規模改修の際には、校舎内に木造建築を取り入れるべきではないか。

**区　長**　施設の改修や改築にあたっては、木材などの素材を適宜使用していきたい。

## 小児2次救急医療の再開に向け努力せよ

日本共産党議員団　かせ　次郎

小児2次救急医療を実施していた中野総合病院では、深刻な医師不足により、小児科病棟を閉鎖することになり、区内で乳幼児が緊急時に入院できる病院がなくなってしまった。再開を目指し病院と話し合うべきではないか。また、警察病院は、東京都から毎年約3億円の補助金を受けて運営されており、地域の切実な要求にこ

警察大学校等跡地